

# 守谷市学校教育プラン

- 確かな学力の育成 (ステップアッププラン)
- 豊かな心をはぐくむ教育の推進 (ハートフォーヒューマンプラン)
- 健康と体力を育む教育の推進 (ヘルス&フィジカルプラン)
- 新しい時代に対応した教育の推進 (ニュージェネレーションプラン)
- 開かれた学校づくりと家庭・地域等との連携 (パートナーシッププラン)



# 令和6年度 守谷市立黒内小学校グランドデザイン

## 守谷中学校区9年間で目指す児童生徒像

- <知>自ら学ぶ子 自ら学び、よく考え、主体的に行動できる子
- <徳>思いやりのある子 人間性豊かで思いやりがあり、助け合える子
- <体>たくましい子 心身ともにたくましく、最後までやり抜く子

## 守谷中学校区の目標

個性を伸ばし、豊かな人間性のある児童生徒の育成

## 目指す学校像

- しあわせを目指す学校
- きれいな学校
- 信頼される学校
- 活力のある学校

## 校訓「清く・正しく・美しく」

## 学校教育目標

豊かな心を持ち、自ら行動できる子の育成  
—学力の向上・豊かな心の育成・健康な体の育成—

くろうちの「し(4)あわせ」もくひょう

- あかるく前向き
- 自分いろが好き
- ありがとうが合い言葉
- 勇気でチャレンジ

くろうちの「し(4)あわせ」まほうことば

- ・なんとかなる!
- ・ありのまま!じぶんがすき!
- ・ありがとう!
- ・やってみよう!

## 校区で目指す教師像

- 分かる授業を工夫する教師
- 繰り返し丁寧に児童に関わる教師
- ほめて、認めて、やる気をもたせる教師
- 目を掛け、手を掛け、心を掛ける教師
- 温かく、厳しく、児童に寄り添える教師

## 学校経営の方針



- ◎児童の「継続的な幸せ(ウェルビーイング)」を目指す。
- ◎「学力向上」と「いじめ対応」を「黒内型ニューノーマル(黒内型学校教育)」へ位置付け、実効性のある取組として推進する。
- ◎児童企画・参加型のプロジェクト活動を積極的に推奨する。
- ◎児童の頑張りや教職員の工夫を可視化し、それに係る情報発信や広報を積極的に行う。
- ◎保護者との協働による「黒内型ニューノーマル(黒内型学校教育)」の充実を図り、過大規模校の強みとする。

## 今年度の重点目標 ~もりやの学校のニューノーマル2を基盤として~

- 「なぜ?」を「分かった!」につなげる「わくわくする授業」を展開する。
- 「いじめ防止プログラム」を実施して、心理的安全性の高い学年・学級集団をつくる。
- 黒内型GIGAスクール構想を深化・発展させ、デジタル・シティズンシップ教育を充実させる。
- 教育相談体制の充実や学校独自のフリースペースの設置で心の居場所をつくる。
- 過大規模校における週日課編成(黒内型カリキュラム・マネジメント)や行事運営を工夫する。

## 今年度の守谷中学校区一貫教育重点目標

- 【学習】
  - つながりを生かして、自ら学び、判断し、表現する児童生徒の育成
  - ~ニューノーマルを踏まえた、主体的・対話的で深い学びを通して~
- 【生活】
  - 守谷中学校区授業メソッドの推進
  - 「みそあじ運動」の展開

## 組織目標

- 1 【学力向上】自ら課題を設定し、他者と協働しながら粘り強く課題解決に取り組める児童の育成
- 2 【いじめ予防】人と関わることを喜び、役に立てることを嬉しいと感じる児童の育成

## ステップアッププラン

- ①「なぜ」を「分かった」につなげる「わくわくする授業」を展開する。【重点】
  - ②「家庭学習のてびき」を活用し、主体的な学びを進めるため自主学習の習慣化を図る。
  - ③ 基礎学力の確かな育成と主体的な学びの推進を図る。
  - ④ 守谷型GIGAスクール構想によるICT活用の充実を図る。
- <具体的な目標>
- ・学力診断テストにおける平均正答率の向上
  - ・「授業が楽しい」と感じる授業を展開することができた 90%以上
  - ・1年~3年 年間50冊以上を90%以上
  - ・4年~6年 年間50冊以上を85%以上 300冊以上を+10%
  - ・1人1台のiPad(eラーニング、Metamoji Class Room活用)による授業や自主学習の推進
  - ・スタディタイムによる校内での基礎学力の定着
  - ・ドリル的宿題の廃止による家庭での自主学習時間と学びの質の確保

## ハートフォーヒューマンプラン

- ①「いじめ防止プログラム」を実施して心理的安全性の高い学年・学級集団をつくる。【重点】
  - ②児童が「自分の学級が好き」「黒内小が好き」といえる学年・学級経営を進める。
  - ③元気にあいさつする児童、進んで掃除に取り組む児童を育てる。
  - ④特別支援教育や生徒指導体制の充実を図る。
  - ⑤業間休みや昼休みの遊びを工夫して、コミュニケーション力の向上を図る。
  - ⑥相談体制の充実や校内独自の校内フリースペース「スマイルルーム」活用による心の居場所づくりをする。
- <具体的な目標>
- ・QUテストにおける「学級満足度」 80%以上
  - ・「あいさつ運動」「ノーチャイム行動」「清潔な身だしなみ」の推進と日常化(みそあじ徹底率80%以上)
  - ・「いじめ防止プログラム」を受けた「いじめ防止授業」の実施100%
  - ・児童委員会による「黒内型いじめ防止プロジェクトの実施
  - ・体力とコミュニケーション能力の向上を図る計画的なゆう遊タイムの実施(月に1回)
  - ・守谷中学校区きらめきフォーラム、あいさつ運動の実施(年間1回以上)

## ヘルス&フィジカルプラン

- ①ニューノーマルを踏まえた行事運営、週時程や日課の工夫を図る。
  - ②ニューノーマルを踏まえた体育授業を通して体力の向上に努める。
  - ③楽しくマナーを守った食に関する指導を充実させ、望ましい食習慣の啓発に努める。
  - ④児童・職員によるAED研修、薬物乱用防止教室、性に関する指導の充実を図る。
  - ⑤安全指導・保健指導、健康指導の充実を図る。
- <具体的な目標>
- ・児童の安全を確保する時差登校、時差休み時間、時差清掃の完全実施
  - ・朝食を食べる児童100%
  - ・全学年でのグループ給食の実施100%

## ニュージェネレーションプラン

- ①「守谷型GIGAスクール構想」を深化・発展させ、デジタル・シティズンシップ教育を推進する。
  - ②各種データのクラウド管理を含めた校内DX化を推進する。
  - ③情報モラル、ICT活用スキルの向上を図る。
  - ④英語活動、外国語活動、外国語科の充実を図り、英語に慣れ親しみ活用してコミュニケーションを楽しむことができる児童を育てる。
- <具体的な目標>
- ・児童委員会によるタブレット活用法の立案、啓発運動の実施(各年間1回以上)
  - ・文書配布物、欠席連絡、連絡帳の電子化100%(一部裁量を除く)
  - ・Webシステム活用による、全校集会、学年集会の実施100%
  - ・Webシステム活用による校区小中、小小連携(年間3回以上)
  - ・児童作品をクラウド上で管理100%
  - ・児童、保護者のclassroom利用率100%
  - ・オンライン英会話・英語教育ハイブリッド授業の実施(年間3回以上)
  - ・EnglishDAYの設定による英語活動の推進(週1回)

## もりやの学校のニューノーマル2 4つの柱

- ニューノーマルな学び方 【重点施策】学力向上
- ニューノーマルな心の教育 【重点施策】いじめゼロ
- ニューノーマルな働き方
- ニューノーマルな学校教育

[https://www.city.moriya.ibaraki.jp/kosodate\\_kyouiku/kyouiku/1002690/1008232.html](https://www.city.moriya.ibaraki.jp/kosodate_kyouiku/kyouiku/1002690/1008232.html)

黒内小学校教職員は、コンプライアンス研修を重ね、信頼される学校を目指します。

## パートナーシッププラン

- ①安全・安心な学校づくりの徹底
  - ②ポータルサイト、Classroom、HP等による適切な情報発信により、開かれた学校づくりを推進する。
  - ③Classroomを活用した児童・保護者への情報提供を日常化する。
  - ④スクールボランティア、PTA黒サボ等の外部人材を積極的に活用する。
  - ⑤小中一貫きらめきプロジェクトの推進
- <具体的な目標>
- ・GoogleWorkspace・Classroom保護者の活用率100%
  - ・HPアクセス数 1日200以上 携帯サイト→



- ・黒サボPTAの学級活用 年間2回以上、学校活用率月5回以上
- ・スクールボランティア活用 各学年1回以上